



Q 買い物弱者を 出さないための対策を & 南 雲 あや子 (文責)



A 高齢者に寄り添った 取り組みをしていく

質問

現在、湯沢町にはスーパーと呼ばれる店は数件しかない。買い物に行く手段として免許証を返納できないのでは。

対策としては、宅配・移動販売・買い物支援・買い物バス等がある。町は高齢者が買い物に不自由し、安心して地域に住み続けることがいかに困難か、打開策を考えるべき。

答弁

令和5年度実施の介護予防日常圏域調査でも、受けたい支援として買い物がある。最も多い高齢者のニーズであることは認識している。

福祉バスや運賃助成事業を実施。民間のサービスの状況を見据えながら、社協と必要なサービスを考えていく。

質問

昨年10月、私と3人の女性で役場に出向き、3つのお願いをした。

- ① 中里駅発の9時台を追加
- ② 湯沢駅発12時25分発を、前のように11時55分に変更
- ③ 湯沢発の3時台のバスを1本追加

職員は「運転免許証の返納

を呼びかけていながら、バスの本数が減ってしまい恐縮している。何とか考えたい」と言ってくれた。どうなるか。

湯沢町地域移動環境計画では、令和7年度からデマンド交通等実験が予定されているが、方法は。

答弁

3点は要望通り4月から運行予定。デマンド交通は決まっていない。

質問

先日、テレビで魚沼市の93歳の女性が、1週間に1回回ってくる移動販売車を「命綱だ、この車が来なければ死んでしまう」と言っていた。

核家族化が進み、高齢化社会を迎えた現在では、買い物には困難を極めている。実態把握をし、打開策を早急に。

答弁

3点の要望に応えて買い物ができるのでは。実態を社協・担当等と聞き取り調査をしながら高齢者に寄り添い、高齢者福祉に努めたい。



越後湯沢駅前方面ゆきバス時刻表



土樽方面ゆきバス時刻表